

反畑誠一(たんばた・せいいち)先生

音楽評論家 立命館大学客員教授

講師紹介は、開講式のページに記載

〈講義概要〉

本講座のコーディネーターである立命館大学の反畑誠一客員教授が、前期の後半総括として、音楽と著作権についての講義を行った。

講義ではまず、著作権法に関する最新情報として、「出版物原著作権」についての新聞記事を紹介し、本格的な電子書籍時代に向けて出版社に新たな権利を与える構想が浮上している現状や出版業界と音楽を中心とするコンテンツ業界の著作権に関する

相違点を示した。また、本年の10月より施行される「私的違法ダウンロードの罰則化」について、著作権の年表を参照しながら詳しく解説。デジタル技術の進歩に伴い複雑になる著作権の問題に対して、柔軟な対応が求められていることを言及した。

さらに、文化庁サイト内「大学生向けの著作権教材」の動画を上映し、音楽エンタテインメントを考える上で重要な著作権について、身近な問題を取り上げて分かりやすく説明した。その後、詳細な資料とともに著作権の定義や歴史、知的財産権の種類、原盤権についても解説。文化庁やJASRACのサイト等を参照し、著作権について今後も積極的に学習を深めて欲しいと学生に伝えた。



〈受講生の感想〉

私たちが著作権を自由に使うことには、必ず制限があって、その制限をしっかりと理解していくことで著作権と私たちの関係を良好に保っていき、更なる芸術文化の発展に繋がるのだと感じました。私は法学部の学生として「著作権法」について更に深く学び、学んだ知識を他の学生に伝えていくという使命があると思いました。

立命館大学・法学部・4回生

著作権に関する動画を見て、学生生活の中にも多々存在している複雑な著作権がよく分かった。また、著作権は様々な権利に分かれており、理解が難しい部分も多いが、「芸術文化活動が活発に行われるため」にも理解することは必要不可欠だ。私もサークルなどで音楽を演奏する機会も多いので、今後も著作権についてしっかり理解し、注意していきたいと思う。

立命館大学・産業社会学部・2回生

完全なデジタル時代が始まり、コンテンツの形も変わっていく中で、法整備が進んでいくことはとても良いことだと思うし、必要なことだと思います。著作権に対する教育を義務教育で行うことも必要だと思います。

立命館大学・産業社会学部・3回生

今まで著作権について漠然とした知識は持っていましたが、種類や内容は全く理解できていなかったもので、今日の講義はとても勉強になりました。映像学部は作品を制作していく上で、とても密接に著作権に関わっていかなくてはならないので、もっと詳しく学んでいく必要があると思いました。この講義をきっかけに自分でも色々調べていきたいと思いました。

立命館大学・映像学部・2回生

著作権と言っても著作人格権や著作隣接権など様々な権利があることが分かりました。違法ダウンロードなど規制を十分にすることも必要ですが、人が文化活動を行うにはついてまわるものだから、学校教育でもっとしっかり学習させるなど利用者がもっと著作権を理解することが必要だと思います。

立命館大学・産業社会学部・2回生

文化庁の作った著作権に関する動画を見ました。大学生の私たちの生活と関連させて分かりやすい内容だったので、実際どのような場面でどのように著作権が問題になるのか、よく理解できました。著作権にはたくさん権利があり、ひとつひとつの権利は支分権といわれており、著作権は「権利の束」ということを学びました。一つ一つの権利を理解して、著作権に配慮していきたいと感じました。

立命館大学・法学部・3回生

著作権は分類すると種類が多く、線引きが難しいことが分かりました。インターネットが発展し、技術もどんどん進歩していている現代で著作権を守っていくことに十分気をつけながら利用すべきだと感じました。そのためにも、個人が「著作権」を学ばなければいけないと思いました。

立命館大学・産業社会学部・3回生

今日の講義は著作権について、詳しく学ぶことができて、今まで少し曖昧だった著作権の部分もしっかり理解することができた。講義内に見た映像は著作権の根本的なところから理解することができた。芸術文化は大切なものであり、それらを守るために著作権は大事な役割を果たしていることが分かった。

立命館大学・産業社会学部・2回生

出版物を電子化するといった「自炊代行」に対する新しい法律を作るという記事を紹介いただきましたが、著作隣接権がレコード会社や制作会社にあって出版社にないということがすごく意外でした。著作物のデジタル化による弊害に対処できるように事前に対策しておく必要があると思いました。

立命館大学・映像学部・3回生

著作権について知らない人も多く、無意識のうちに著作物の権利を侵害している場合もあるため、教育が必要だと常々思っています。著作権の存在をもっと重要視し、それぞれが自覚して著作物を利用できるということが理想だと思います。

立命館大学・産業社会学部・4回生